

電気学会CPD アンケート結果の報告

電気学会技術者教育委員会
CPD部会 児玉 孝亮

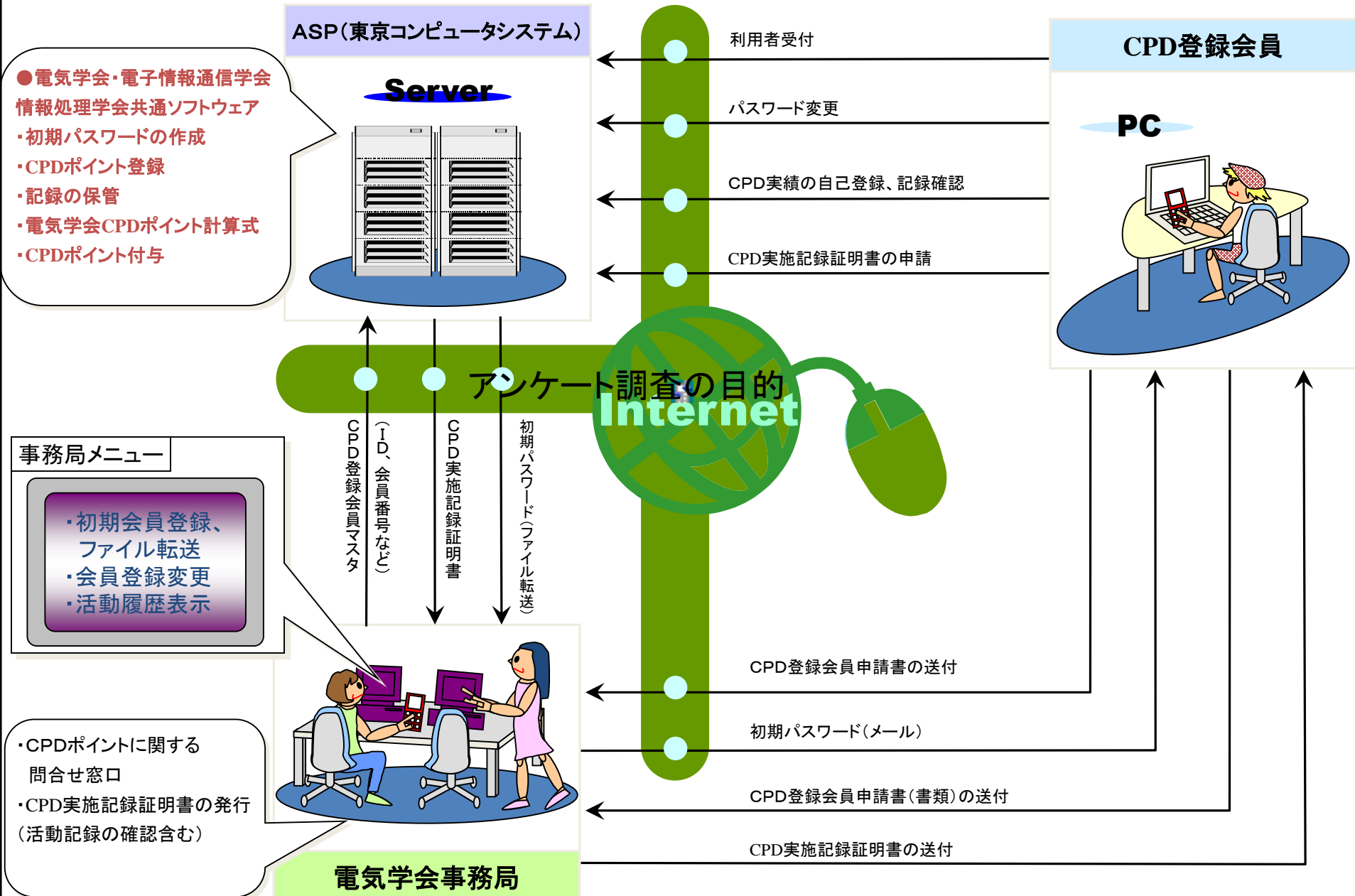
調査の目的

学会でCPD支援活動を開始して10年近くなるが、CPD登録会員が増加しない理由を調べて今後の方針を決める。

疑問となる点は；

- ・会員はCPD(継続研鑽)そのものをしていないのか、関心がないのか。
- ・CPD実績の集計を必要としていないのか。
- ・CPD実績管理システムが使いにくいのか。

電気学会CPD会員システム運用図



アンケート調査の実施

調査期間

2015年7月16日～8月4日 20日間

調査方法

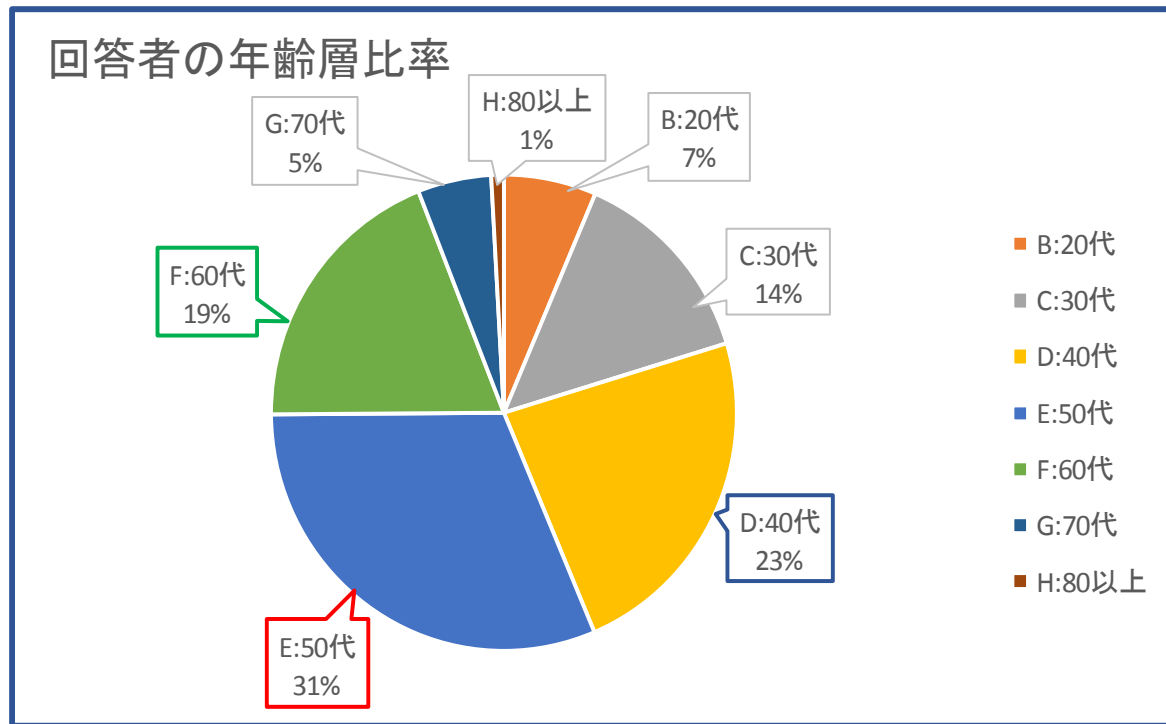
メール配信 依頼件数 約14,000件

メルマガ購読会員とCPD登録会員

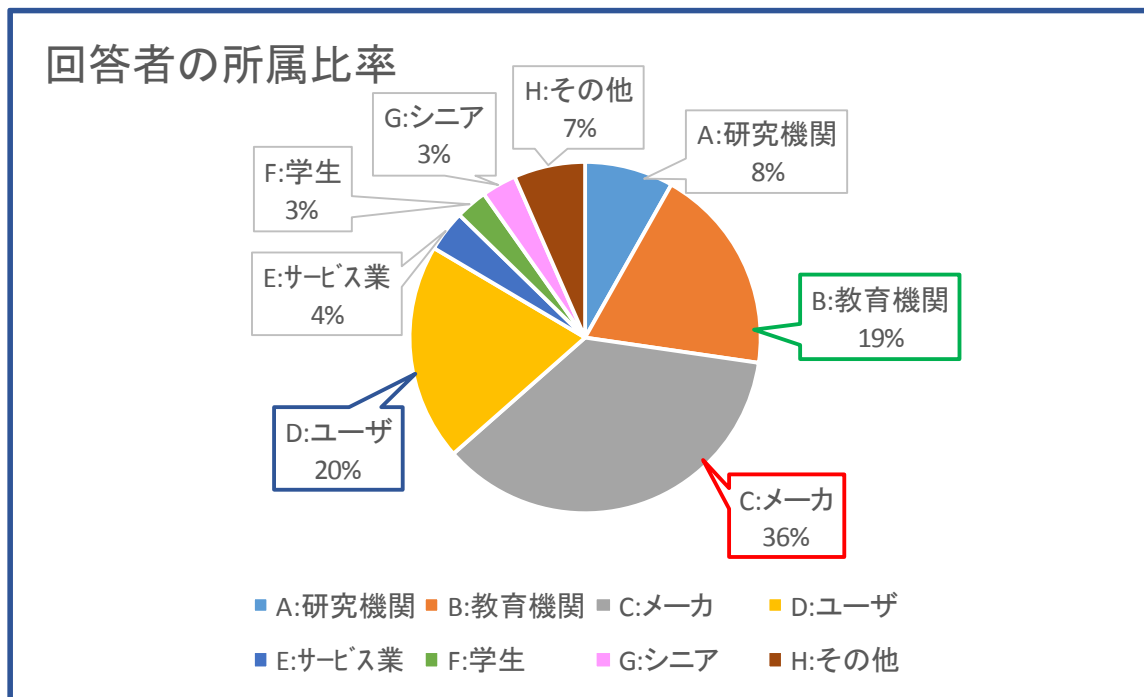
回答数

685件（回答率 約5%）

問1: あなたの年齢を教えてください



問2:あなたのご所属を教えてください



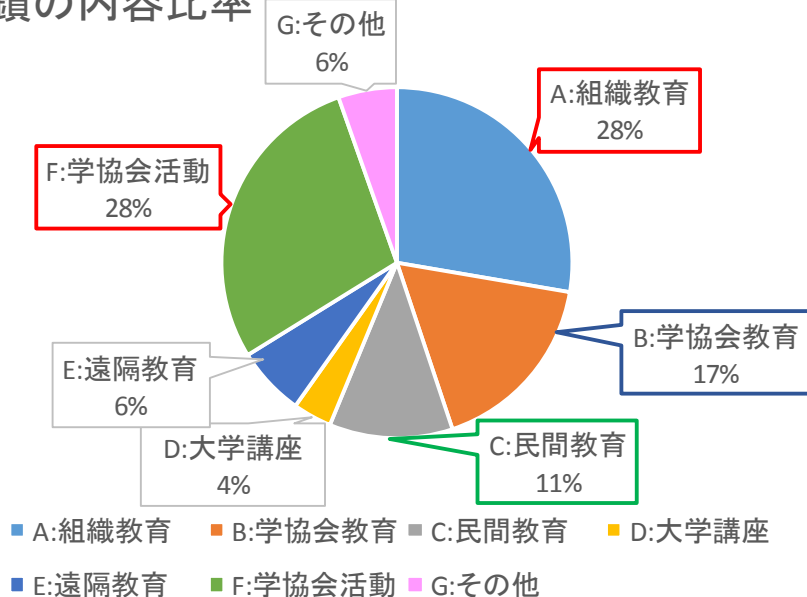
H:その他の内容

建設業×5 退職×4 電気工事業×3 コンサルタント個人事業×3 建設業電気工事×2
営業×2 団体×2

問3: 自己研鑽をどのように進めていますか？(複数回答可)

- ・A:組織内教育への参加, ・B:学協会教育への参加, ・C:民間教育への参加,
- ・D:大学の講座受講, ・E:遠隔教育(通信教育, e-Learningなど)
- ・F:学協会活動(委員会への参加、論文発表など), ・G:その他

自己研鑽の内容比率



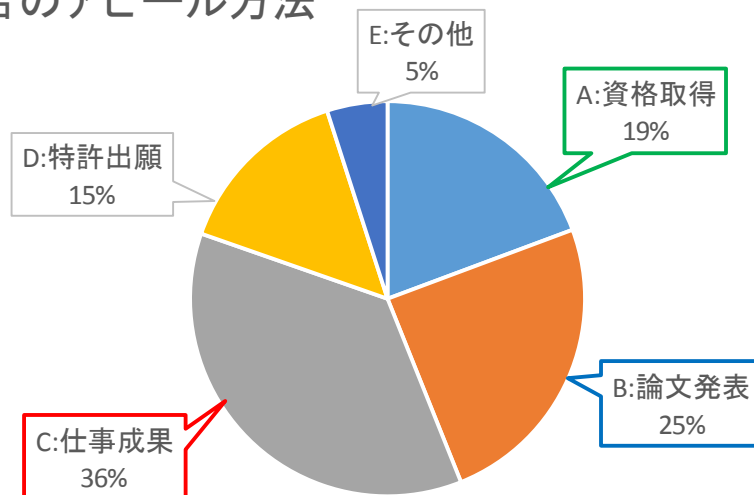
G:その他の内容

- ・学会誌, 論文誌, 技術系月刊誌, 専門書, 参考書, ネットによる自習×29
- ・自己学習×20
- ・セミナー, シンポジウム, 展示会, 見学会に参加×13
- ・日本技術士会のCPD行事・講座×6
- ・学会の企画・運営への参加×4
- ・内外の専門技術特許検索, 学術情報の収集×4
- ・仕事, 研究開発を通じて×2

問4:ご自身の技術力, 自己研鑽の度合いをアピールするためにどのようなことをしていますか？(複数回答可)

・A:資格を取る, ・B:論文発表する, ・C:仕事の成果を出す, ・D:特許出願する, ・F:その他

研鑽度合のアピール方法



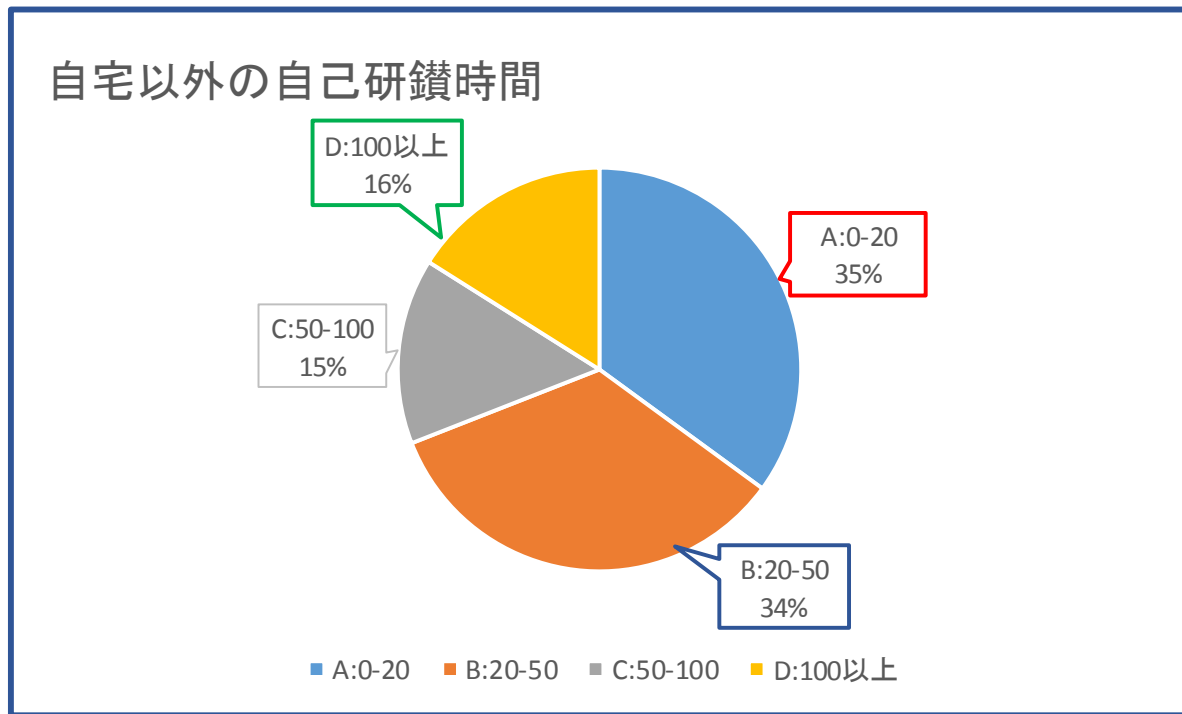
■ A:資格取得 ■ B:論文発表 ■ C:仕事成果 ■ D:特許出願 ■ E:その他

E:その他の内容

- ・特にアピールしない×14
- ・アピールする必要性がない×3
- ・講演会発表・講師担当×8
- ・書籍出版, 技術報告書, 雑誌執筆×6
- ・学会活動×5
- ・講演会・ 세미나聴講, 学術誌・専門誌購読×5
- ・技術コンサルティング×4
- ・メディア報道協力×2
- ・職場OJT主催×2
- ・若手への技術伝承×2
- ・交流・人脈増×2
- ・共同研究, 公共入札 総合評価へ活用, CPD認定技術士・APEC Engineer・Int.PE更新

問5:年間、自宅以外の自己研鑽活動にどの程度の時間をかけていますか？

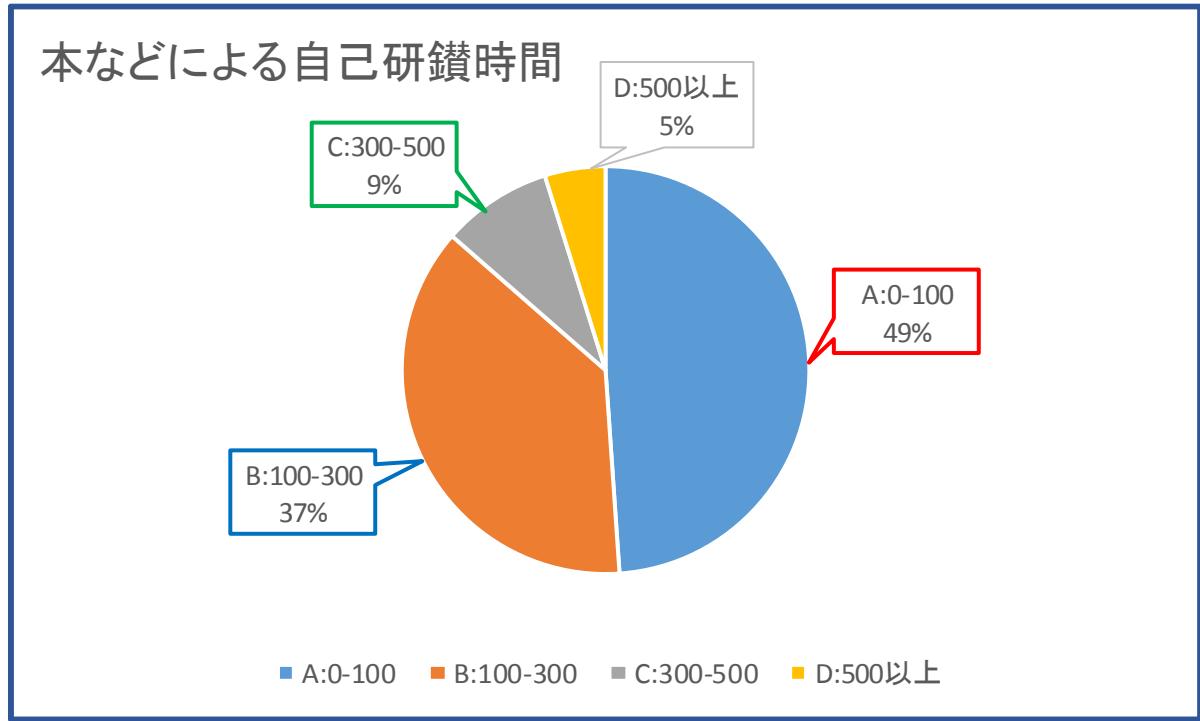
・A:0～20時間, ・B:20～50時間, ・C:50～100時間, ・D:100時間以上



問6: 年間, 本などによる自己学習による自己研鑽活動にどの程度の時間をかけていますか?

・A:0~100時間, ・B:100~300時間, ・C:300~500時間, ・D:500時間以上

A:0-100	B:100-300	C:300-500	D:500以上	合計
335	257	60	33	685

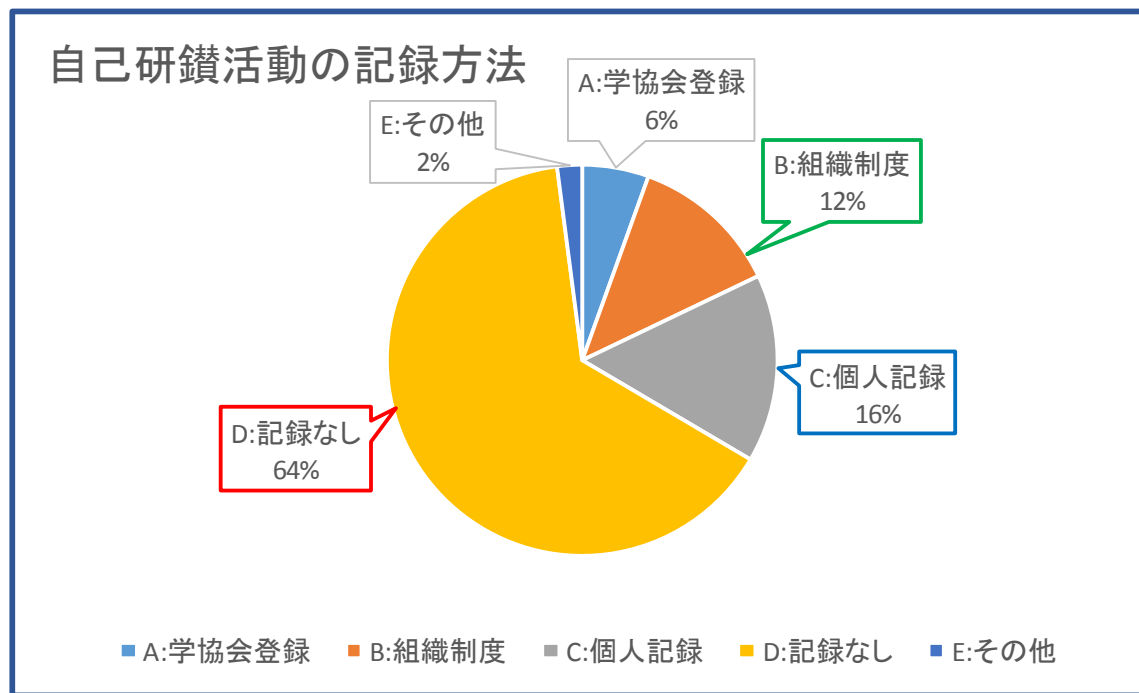


問7: 自己研鑽活動をどのように記録していますか？(複数回答可)

The Institute of Electrical Engineers of Japan



- ・A:学協会のCPDシステムに記録, ・B:組織の制度に従って登録
- ・C:個人で記録, ・D:記録していない, ・E:その他

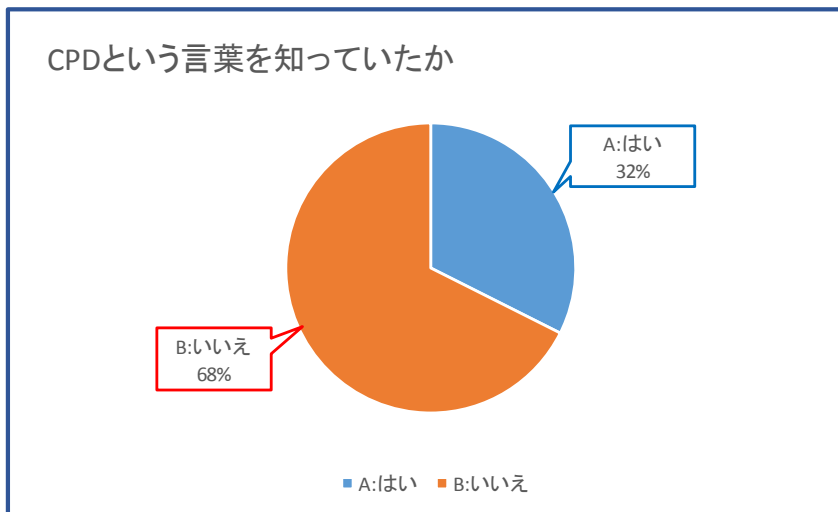


E:その他の内容

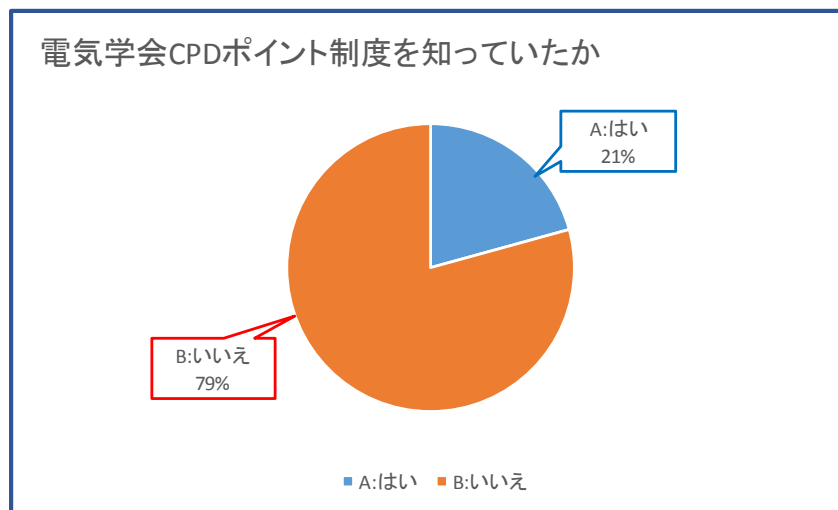
日本技術士会CPDシステムに登録×7

自動車技術会のCDPIに登録, 受講報告書を作成し職場内へ回覧, 講義ノートに加筆・読書録に要点記述, 受講記録・講座メモ作成, 出講先が記録

問8：CPD (Continuing Professional Development)という言葉を知っていましたか？



問9：電気学会にCPDポイント制度があるのを知っていましたか？



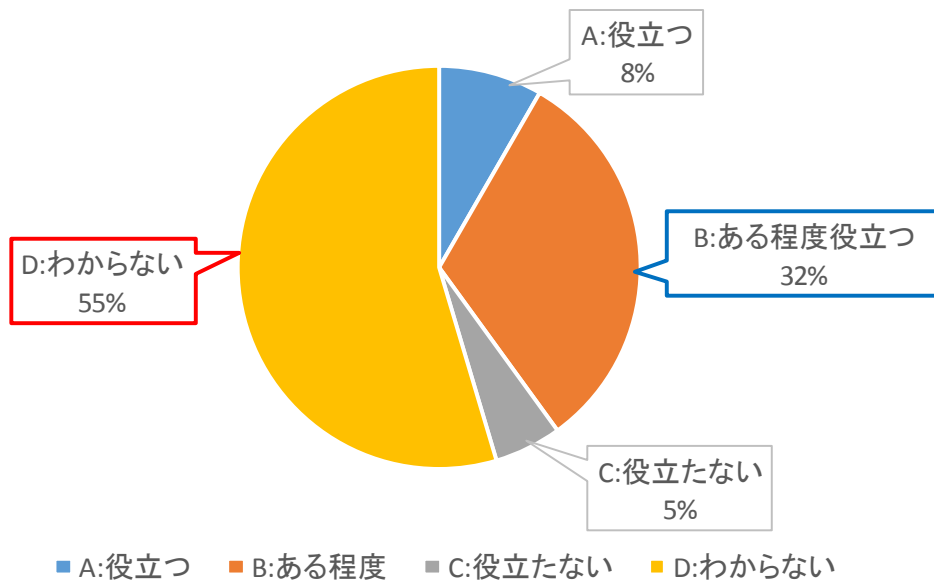
問10: 電気学会のCPDポイント制度についてどう思いますか？

The Institute of Electrical Engineers of Japan



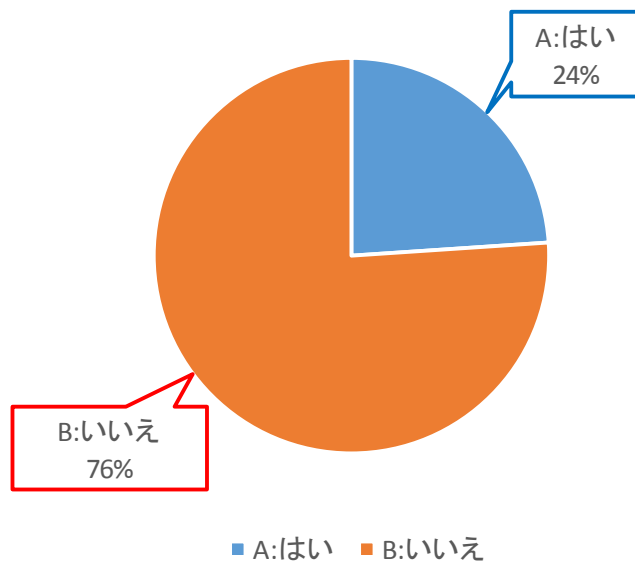
・A:役に立つ, ・B:ある程度役に立つ, ・C:役に立たない, ・D:わからない

電気学会CPDポイント制度をどう思うか



問11:他の学協会にもCPD制度があるのを知っていますか?

他学会CPD制度を知っているか

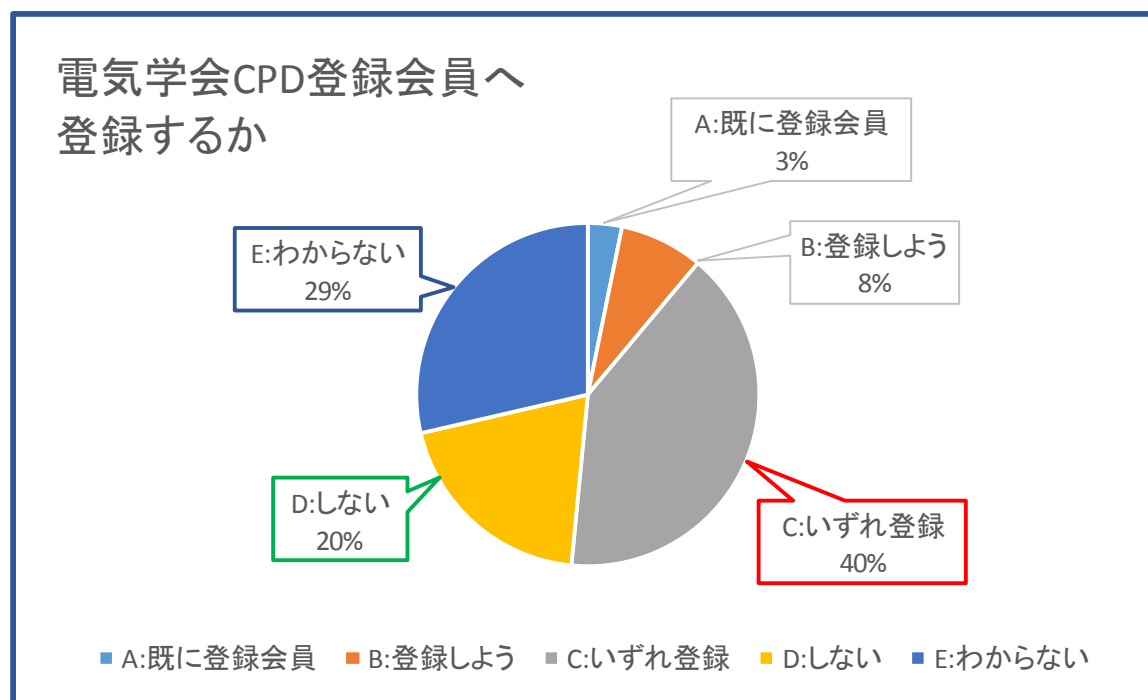


問12: 電気学会のCPD登録会員へ登録しようと思いませんか？

The Institute of Electrical Engineers of Japan



- ・A:既にCPD登録会員である
- ・B:登録しようと思う
- ・C:いずれ登録しようと思う
- ・D:登録しない(理由)
- ・E:わからない(理由)



D:しない, E:わからない, の理由は次ページ

D:しない, E:わからない, の理由

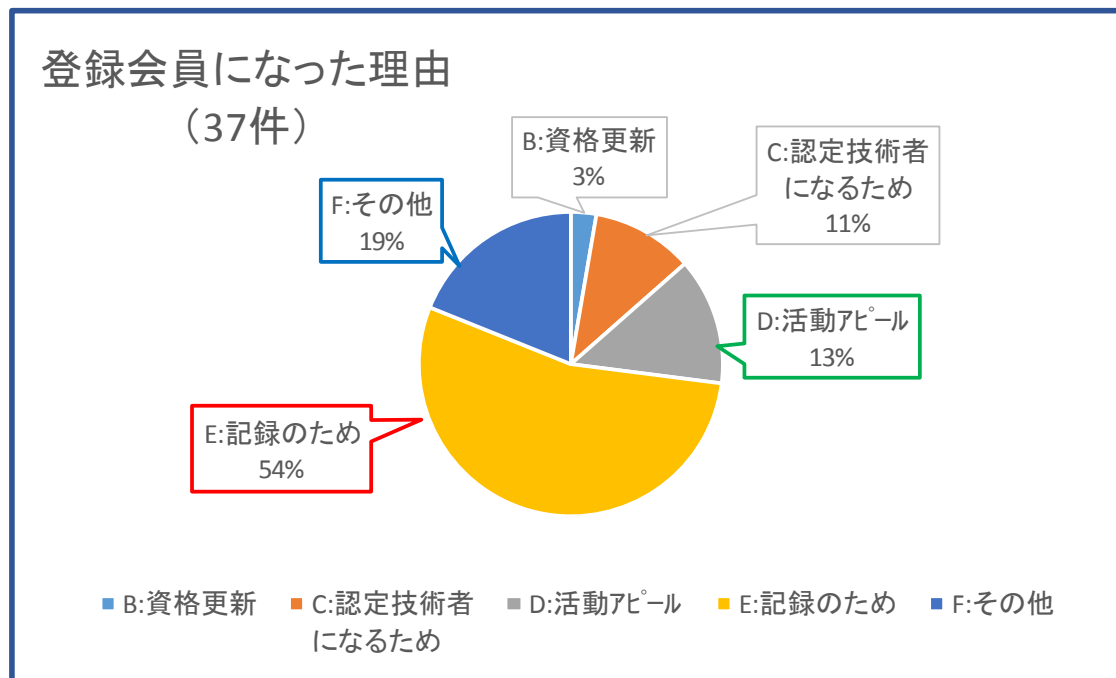
- 登録によるメリットがない×56
- 制度詳細が分からない×40
- 必要性を感じていない×34
- 具体的な行動ができそうにない(教育内容, 時間, 費用等により)×17
- 高齢のため×16
- リタイア時期のため×14
- 日本技術士会, 他団体のCPDに登録×12
- 価値, 効果がわからない×9
- 役に立たない×5
- 業務に関係低い, 企業活動に直結しない×5
- ポイント制度を利用してまで自分をPRしようと思わない×4
- 面倒(ポイント管理等)×4
- 自社内だけに登録×3
- CPDの世間的認知度, 評価が低い×2
- 学位取得で十分, ・論文・研究発表が研鑽を示すのに十分である, 研究開発・その成果を出すことに専念したいため,
- 電気学会に入ったばかりだから, ・自身のキャリア形成を含めて必要性について熟考したい, ・目下のことは汎用性がない, ・セキュリティの信頼性, ・要らない, 興味がない

問13: あなたがCPD登録会員になった理由を教えてください(複数回答可)

The Institute of Electrical Engineers of Japan



- A: CPD登録会員ではない, •B:資格更新に必要なため, •C:電気学会CPD認定技術者になるため
- D: CPD活動実績を第三者にアピールするため, •E: CPD活動を記録するため, •F:その他

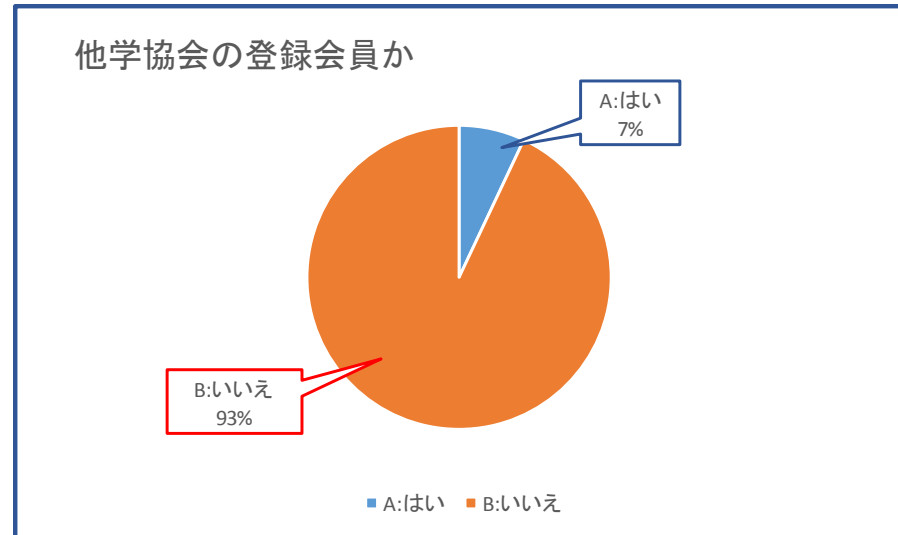


F:その他の内容

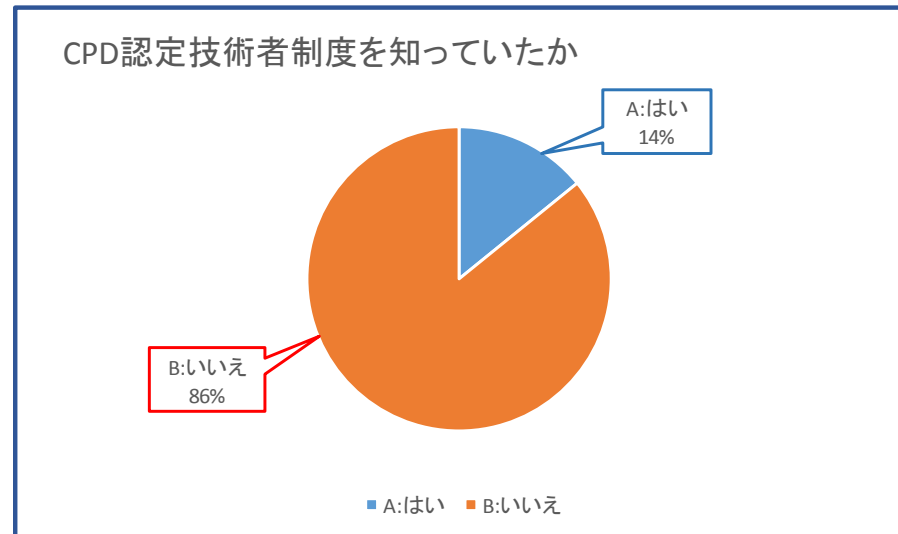
日本技術士会のCPD登録会員

CPD普及のため, 入札制度の評価対象だから, 会社で強制, 会社の奨め, 社員全員加入のため

問14: 他の学協会のCPD登録会員になっていますか？

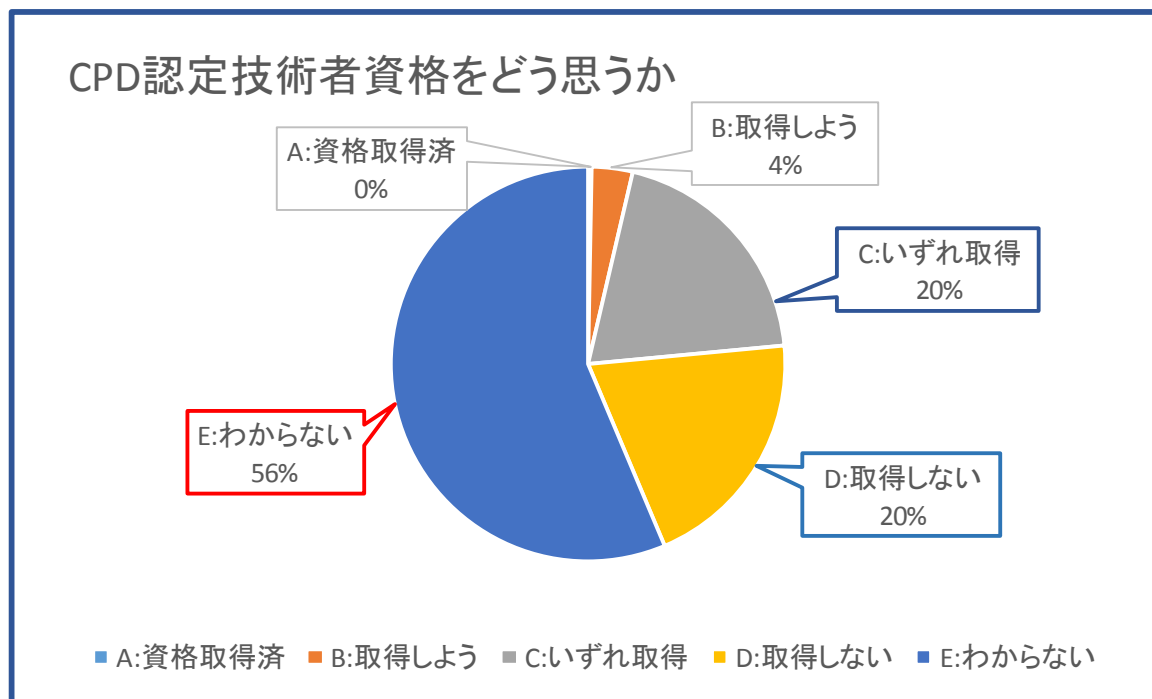


問15: 電気学会CPD認定技術者制度を知っていましたか？



問16: CPD認定技術者の資格についてどう思いますか？

- A:既に資格を取得している, •B:資格を取得しようと思う, •C:いずれ取得しようと思う
- D:取得しない, •E:わからない



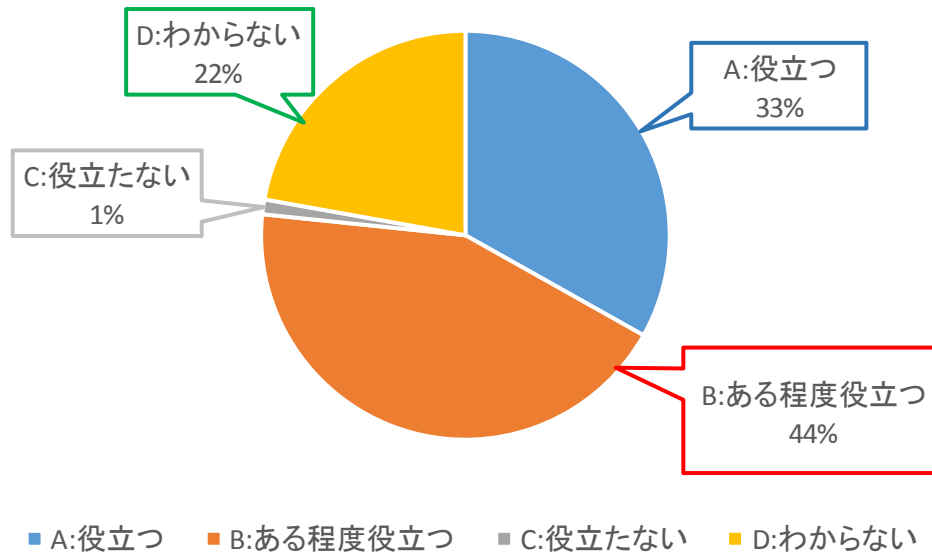
問17: 電気学会の「自己研鑽の場」の提供をどう思いますか？

The Institute of Electrical Engineers of Japan



・A:役に立つ, ・B:ある程度役に立つ, ・C:役に立たない, ・D:わからない

自己研鑽の場の提供をどう思うか



問18:電気学会のCPD活動について改善に役立つと思われることを挙げてください(自由意見)

A. 自己研鑽の場の提供について

B. CPDポイント制度について

C. CPDシステムについて

D. その他

A. 自己研鑽の場の提供について

評価する意見

- ・大会・研究会など多種多彩な場が提供されており、自己研鑽の題材が豊富
- ・メルマガによる行事の案内は有用

要望・提案

- ・変動する技術環境に対応する研鑽の場の提供
- ・参加したいと思う魅力的な場は何か検討すべき
- ・教育機関のスケジュールを考慮してイベント開催
- ・地方在住の人に参加しやすい場を提供
- ・日々業務が忙しいので土曜日の活用を考えて
- ・現場技術を見学・研鑽する場がほしい

B. CPDポイント制度について

評価する意見

- ・数値化されて評価されるので、わかりやすい
- ・自己研鑽のインセンティブになる

批判・要望・提案

- ・制度の必要性、ポイント制に違和感
- ・具体的なメリット・効果がわからない
- ・ポイント付加の妥当性・公平性が必要
- ・周知が進んでいない
- ・各学協会ごとの制度を共通化してほしい
- ・CPDポイントが経済・社会的価値を生むようにならないか

C. CPDシステムについて

CPD管理システムの利便性についての提案・要望

- CPD管理システムの位置付けを国際的に
- CPD管理システムを官公庁や学生が活用しやすいように
- システムの使い勝手を良くしてほしい
- 受講証明書の入手法が面倒
- 実績記録を過去に遡って登録できないか

結論

1. アンケート回答者は地道に自己研鑽を続けていることが明らかになった。
2. CPDに関してPRする必要性が高いことが分かったが、アンケートを契機として回答者には認知され、CPD登録会員増加の口火になった。
3. CPD管理システム運用の必要性も見えてきたので、現システムを継続して維持する。
4. CPDの社会的価値や認知度の向上を望んでいる会員もあり、一般社会へのCPD技術者のPRが期待される。

ご清聴有難うございました